大学番号:私立107

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



東京農業大学 国際食料情報学部 国際食農科学科 注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京農業大学 令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 企画広報室

職名・氏名 主任 清水 正樹

電話番号 03-5477-2650

(夜間) 同上

F A X 03-5477-2804

e — mail kaikaku@nodai.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・ 短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

- 大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際食料情報学部

<≣	國際食農科学科>	^°−	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	16
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	18
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	21
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	33
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京農業大学

- (2) 大 学 名 東京農業大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
理事長	(オオサワ カンジュ) 大澤 貫寿 (平成23年7月)		
学 長	(タカノ カツミ) 高野 克己 (平成25年7月)		
学 部 長	(トモダ キヨヒコ) 友田 清彦 (平成26年4月)	(スガヌマ ケイスケ) 菅沼 圭輔 (平成30年4月)	任期満了に伴い平成30年4月1日 付変更 (30)
学科長等	(ハラ ジュリ) 原 珠里 (平成29年4月)	(イナイズミ ヒロキ) 稲泉 博己 (平成30年4月)	任期満了に伴い平成30年4月1日 付変更 (30)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元) 令和2年度に報告する内容 → (2)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ <u>様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員)佣
国際食料情報学部 国際食農科学科 学士(農学)		4	110	年次 人 一	人 440	入学定員100人、収容定員 400人(平成30年4月) (30)

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成	້, 2	8年	F度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	令和え	元年度	令和 2	2年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分	th desired the second s	春季入	、学	その他	也の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	ИĦ	77
			人		人	100人	一人	110人	一人	110人	一人	110人	Y				
Α	入学定員	()	(-	_)	(-	_)	(-	_)	(-	-)				
		[]	[-	-]	[-	_]	[-	-]	[-	-]				
						1, 339	_	865	_	894	_	1, 082	-				
,	志願者数	()	()	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)				
		[]	[]	[2]	[—]	[3]	[—]	[5]	[—]	[2]	[—]				
						1, 303	_	839	_	877	_	1, 042	-				
	受験者数	()	()	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1. 05倍	—倍		
		[]	[]	[2]	[—]	[3]	[—]	[4]	[—]	[2]	[—]	1. 00111	14		
						276	_	322	_	367	_	432	_				
1	合格者数	()	()	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)				
		[]]	[2]	[—]	[3]	[—]	[3]	[—]	[1]	[—]				
						109	_	114	_	117	_	114	_				
В	入学者数	()	()	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)				
		[]	[]	[2]	[—]	[2]	[—]	[3]	[—]	[1]	[—]				
入学	学定員超過率 B/A					1.	09	1.	03	1.	06	1.	03				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	8 年度	平成2	9年度	平成3	0年度	令和え	元年度	令和2	2 年度	. 備	考
学	年	春季入学	その他の学期		7-3								
				109	_	114	_	117	_	115	_	平成30年度転学科	(2年次:1名)
	1 年次			[2]	[—]	[2]	[—]	[3]	[—]	[2]	[—]		
				(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(1)	(—)		
						108	_	113	_	116	_		
	2 年次					[2]	[—]	[2]	[—]	[2]	[—]		
						(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
								108	_	110	_		
	3年次							[2]	[—]	[2]	[—]		
		_						(—)	(—)	(—)	(—)		
										106	_		
	4 年次									[2]	[—]		
										(—)	(—)		
				10)9	22	22	33	38	44	1 7		
	計	[]	[2	2]	[4	1]	[]	7]	[8	3]		
		()	(-	_)	(–	_)	(–	_)	(1)		

- ·令和2年5月1日 公表
 - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、 $\underline{\mathbf{8}}$ 年者の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{5}}$ 当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)	3 244 b be de	内訳 退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
対象年度			入学した年度		うち留学生数	
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人	
平成29年度	109 人	0 人	平成28年度	人	人	
十成29千度	109 人	0	平成29年度	0 人	0人	
			平成28年度	人	人	
平成30年度	222 人	2 人	平成29年度	2 人	0人	進路変更(1名)、一身上の都合(1名)
			平成30年度	0人	0 人	
			平成28年度	人	人	
令和元年度	338 人	1 人	平成29年度	0 人	0人	
节和几千度	336 人	1 7	平成30年度	1人	0人	進路変更(1名)
			令和元年度	0 人	0人	
			平成28年度	0 人	0人	
			平成29年度	2 人	0 人	進路変更(2名)
令和2年度	447 人	5 人	平成30年度	3 人	0 人	国外留学(1名)、進路変更(1名)、就職(1名)
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0人	
合 計		8 人		8 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】 平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b) _ = _ % 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b) % 109 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) 222 0.9 % 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 0.29 % 338 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) - = -1.11 %

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<国際食料情報学部 国際食農科学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

			配	<u>í</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
	_		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	導	フレッシュマンセミナー	1前	2			7	4		3		
	入科	共通演習	1後	1			7	4		3		
	目	情報基礎(一)	1前	2								2
		情報基礎(二)	1後	2								2
	へ 係ポー 科	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1							2
	目ツ関	スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1							2
		特別講義(一)	1前		2							1
4/1	課	特別講義(二)	1前		2							1
総合	題別	特別講義(三)	1前		2							1
教育	科	特別講義(四)	1前		2							1
科	目	インターナショナル・スタディーズ(ー)※	1前		2		1	2				9
目		インターナショナル・スタディーズ(二)	1後		2							1
	就職	キャリアデザイン	2前		1		1					
	準備	ビジネスマナー	2前		1		1					
	科目	インターンシップ	3後		1		1					
	リメ	基礎数学	1前			2						1
	育デ科ィ	基礎社会	1前			2						1
	目アル	文章表現	1前			2						1
	教	小計(18科目)	- 100	7	17	6	7	4	0	3	0	20
	基	英語(一)	1前	2		Ū			j	J	Ů	3
	盤英	英語(二)	1後	2								3
	語科	英語(三)	2前	2								3
	目	英語(四)	2後	2								3
		TOEIC英語(一)	2前		2							6
		TOEIC英語(二)	2後		2							6
	実	英語リーディング(一)	3前		2							6
	用英	英語リーディング(二)	3後		2							6
	語科	英会話(一)	3前		2							3
	目	英会話(二)	3後		2							3
		科学英語	4前		2							3
		ビジネス英語	4後		2							3
		中国語(一)	1前		2							3
		中国語(二)	1後		2							3
		中国語(三)	2前		2							3
外 国		中国語(四)	2後		2							3
語科		フランス語(一)	1前		2							1
Ħ		フランス語(二)	1後		2							1
		フランス語(三)	2前		2							1
		フランス語(四)	2後		2							1
	初修	スペイン語(一)	1前		2							2
	外国	スペイン語(二)	1後		2							2
	語科	スペイン語(三)	2前		2							2
	目	スペイン語(四)	2後		2							2
		ブラジル・ポルトガル語(一)			2							1
		ブラジル・ポルトガル語(二)	1後		2							1
		インドネシア語(一)	1前		2							2
		インドネシア語(二)	1後		2							2
	l	タイ語(一)	1前		2							1
		I A J=T / - \	1後		2			l	l	l	l	1
		タイ語(二)										
		ハングル・韓国語(一) ハングル・韓国語(二)			2							1

【令和2年度】

			配	í	单位数	女	車	7任教	て 員等	の配	置	兼任
科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	-
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	286	フレッシュマンセミナー	1前	2			8	5		1		2
	導入	共通演習	1後	1			8	5		1		
	科目	情報基礎(一)	1前	2								2
		情報基礎(二)	1後	2								2
	スポー	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1							2
	科 目ツ関	スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1							2
		特別講義(一)	1前		2							1
	課	特別講義(二)	1前		2							1
総合	題	特別講義(三)	1前		2							1
合教育	別科	特別講義(四)	1前		2							1
科	目	インターナショナル・スタディーズ(ー)※	1前		2		1	1				11
目		インターナショナル・スタディーズ(二)	1後		2							1
	就職	キャリアデザイン	2前		1		0					1
	準備科	ビジネスマナー	2前		1		0					1
	目	インターンシップ	3後		1		0					1
	リメ	基礎数学	1前			2						1
	育デ科ィ	基礎社会	1前			2						1
	目アル	女亲丰珥										
	教	文章表現 小計(18科目)	1前	7	17	6	8	5	0	4	0	25
	基	英語(一)	<u></u> 1前	2	17	U	•	J	U	_	U	4
	盤英	英語(二)	1後	2								4
	語	英語(三)	2前	2								4
	科目	英語(四)	2後	2								4
		TOEIC英語(一)	2前		2							10
		TOEIC英語(二)	2後		2							10
	実	英語リーディング(一)	3前		2							10
	用英	英語リーディング(二)	3後		2							10
	語科	英会話(一)	3前		2							3
	Ë	英会話(二)	3後		2							3
		科学英語	4前		2							3
		ビジネス英語	4後		2							3
		中国語(一)	1前		2							1
		中国語(二)	1後		2							1
ы		中国語(三)	2前		2							2
外国		中国語(四)	2後		2							2
語科		フランス語(一)	1前		2							1
目		フランス語(二)	1後		2							1
		フランス語(三)	2前		2							1
	初	フランス語(四)	2後		2							1
	修	スペイン語(一)	1前		2							1
	外国	スペイン語(二)	1後		2							1
	語科	スペイン語(三) スペイン語(四)	2前		2							1
	目	スペイン語(四) ブラジル・ポルトガル語(一)	2後 1前		2							1
		ブラジル・ポルトガル語(一)	I削 1後		2							1
		インドネシア語(一)	1仮 1前		2							2
		インドネシア語(二)	1後		2							2
		タイ語(一)	1前		2							1
		タイ語(二)	1後		2							1
		ハングル・韓国語(一)	1前		2							1
		ハングル・韓国語(二)	1後		2							1
		小計(32科目)		8	56	0	0	0	0	0	0	29

			配	ì	单位数	汝	車	任教	[員等	の配	置	兼
科区	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
Ā	מל.		平次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	人	哲学	1前		2							1
	間関	日本史	1後		2							1
	係	文化人類学	1後		2							1
	科目	環境倫理	2前		2							1
		法学入門										
	社会		1前		2							1
	関	政治のしくみ	1前		2							1
	係科	日本国憲法	1後		2							1
	目	地理学	2後		2							1
	<u></u>	生物学	1前		2							1
	自然	化学	1前		2							1
	関係	数学	1後		2							1
	科	物理学	1後		2							1
	目	地学	2後		2							1
		小計(13科目)		0	26	0	0	0	0	0	0	12
	由	栽培学入門※	1前		2			1				4
	専門	経営学入門	1後		2							1
	共通	経済学入門	1後		2			Ī				1
	科目	畜産学入門	2前		2			Ī				1
	H	統計基礎	2前		2							1
		小計(5科目)	_	0	10	0	0	1	0	0	0	8
	創生											
	日型	地域再生·活性化	1前		2			Ī				1
	科	小計(111日)		_	0	0	_	_	_	_	^	4
		小計(1科目)		0	2	0	0	0	0	0	0	1
		国際食農科学総論※	1前	2			4	1				
	専							'				
	門	栄養食品科学	1前	2	_		1					
	基礎	国際地域農業論※	1前		2		1	3				
	科	食農基礎実験	1後	1			2			1		
専	目	植物生産・生理学	1後	2				1				
門教		国際食農教育·学習論	1後	2			1					
育		民俗学	2前		2							1
科目		小計(7科目)	_	9	4	0	5	4	0	1	0	1
		食農野菜学	2前	2			1					
		食品加工学	2前	2						1		
		食品材料学(一)	2前	2			1					
		国際食農文化資源論	2前	2				1				
		フードスペシャリスト論	2前		2		1					
		グローバリゼーションと食品流通	2前		2					1		
		食育と食生活論	2前		2		1	Ī				
		食品衛生学	2後	2				Ī		1		
		食品材料学(二)	2後	2			1					
		食農作物学	2後	2				1				
		消費経済学	2後	2			1	Ī				
		調理学	2後		2			Ī				1
	*	食農と協同組合	2後		2			1				
	専門	グローバリゼーションとフェアトレード	2後		2			'		1		
	コア	食農文化論※	2後		2		2			'		
		食農政策法制論		,				,				
	科目		3前	2			4	1				
	_	農村社会学	3前	2			1	Ī				
		地域活性化論	3前	2			١.	Ī		1		
		比較農業史	3前	2			1					
		持続的農業論	3前		2			1				
		食品機能学	3前		1		1	Ī				
		食農果樹学	3前		2			1				
		土壌肥料学	3前		2			Ī				1
		農業経営学	3後	2						1		
		国際食農商品戦略論※	3後	2			1	2		1		
		農業生産と気象	3後		2		1	Ī				
		フードコーディネート論	3後		2			Ī				1
		学習と参加の理論	3後		2		1	Ī				
		比較食文化史	3後		2		1	ĺ				
	1		- 12									

_			配	È	单位数	λī	重	[任教	7員等	の西	.置	兼
	日	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・
	יתי		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	人間	哲学	1前		2							1
	関	日本史	1後		2							1
	係科	文化人類学	1後		2							1
	目	環境倫理	2前		2							1
	社	法学入門	1前		2							1
	会関	政治のしくみ	1前		2							1
	係科	日本国憲法	1後		2							1
	目	地理学	2後		2							1
	自	生物学	1前		2							1
	然	化学	1前		2							1
	関係	数学	1後		2							1
	科目	物理学	1後		2							1
		地学	2後		2							1
		小計(13科目) 栽培学入門※	<u>一</u> 1前	0	26 2	0	0	1	0	0	0	12 4
	専門	経営学入門	1後		2			'				1
	共	経済学入門	1後		2							
	通科	を	2前		2							1
	目	統計基礎	2前		2							1
		小計(5科目)	-	0	10	0	0	1	0	0	0	8
	創占生		, 44		_							
	目型 科	地域再生·活性化	1前		2							3
	14	小計(1科目)	_	0	2	0	0	0	0	0	0	3
		農学概論※	1前	2			1	1		0		6
	_	国際食農科学総論※	1前	2			4	1				
	専門	栄養食品科学	1前	2			1					
	基	国際地域農業論※	1前		2		2	2				
	礎科	食農基礎実験	1後	1			2	2		0		
専	目	植物生産·生理学	1後	2			1	0				
門教		国際食農教育·学習論	1後	2			1					
育科		民俗学	2前	-	2	•	_	_	_			1
目		小計(8科目) 食農野菜学	<u></u> 2前	<u>11</u> 2	4	0	6 1	5	0	0	0	
		食品加工学	2前	2			'	1		0		
		食品材料学(一)	2前	2			1	•		ľ		
		国際食農文化資源論	2前	2				1				
		フードスペシャリスト論	2前		2		1					
		グローバリゼーションと食品流通	2前		2			1		0		
		食育と食生活論	2前		2		1					
		食品衛生学	2後	2				1		0		
		食品材料学(二)	2後	2			1					
		食農作物学	2後	2			1					
		消費経済学	2後	2			1					
		調理学	2後		2							1
	専	食農と協同組合	2後		2			1				
	門っ	グローパリゼーションとフェアトレード	2後		2					1		
	コア	食農文化論※	2後		2		2					
	科目	食農政策法制論	3前	2				1				
		農村社会学	3前	2			1					
		地域活性化論	3前	2			١.			1		
		比較農業史	3前	2	_		1					
		持続的農業論	3前		2		1	0				
		食品機能学食農果樹学	3前		1 2		1	1				
		良辰朱俶子 土壌肥料学	3前 3前		2			'				1
		上場 上場 記 表 記 会 に 会 会 会 会 会	3制	2	_			1		0		l '
		辰未柱五子 国際食農商品戦略論※	3後	2			1	3		0		
		農業生産と気象	3後	_	2					ľ		
		展来王座CX(家 フードコーディネート論	3後		2		l					1
		学習と参加の理論	3後		2		1					l .
		比較食文化史	3後		2		1					
			- 14									

			配		单位数	攵			員等	の配	置	兼
科区	日分	授業科目の名称	当年	必	選	町	教	准教	講	助	助	任・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	/)		次	修	択	由	授	投授	師	教	手	兼担
	専門	農村女性論	3後		2		1					
	目コ	植物育種学	3後		2							1
	ア 科	行動経済学	3後		2			1				
		小計(32科目)	_	28	35	0	7	4	0	3	0	4
	学 科際 目領 域	食農とメディア※	4後		2		3	1				
		小計(1科目)	_	0	2	0	3	1	0	0	0	0
		食農基礎実習※	1通	2			1	2		1		1
		食農基礎演習	1通	4			4	2		1		
		食農専門実習※	2通	2			2	2		2		1
専		食農専門演習	2通	4			4	2		2		
門		食品分析学実験	2後	2			2			1		1
教育		食農ファームステイ	2後	2			7	4		3		
科目		食農フィールドスタディ	3後	2			7	4		3		
-	総合	食品加工品質評価学実習	3前	1			1			1		2
	化 科	食品安全評価学実験	3前	1			2			1		
	目	食農文化演習※	3前		2		1	1				
		食品機能学実験	3後		1		2					
		調理学実習	3後		2					1		2
		国際食農科学演習(一)	3前	2			7	4		3		
		国際食農科学演習(二)	3後	2			7	4		3		
		国際食農科学演習(三)	4前	2			7	4		3		
		国際食農科学演習(四)	4後	2			7	4		3		
		卒業論文	4通	4			7	4		3		
		小計(17科目)		32	5	0	7	4	0	3	0	6
	合計(126科目)		_	84	157	6	7	4	0	3	0	73

卒業要件及び履修方法

必修科目84単位、選択必修科目16単位(実用英語科目の中から4単位、人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目24単位以上(ただし、学科専門科目の中から12単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

			配	È	单位数	Į	専	任教	(員等	の配	置	兼
科区	日分	授業科目の名称	当年	必	選	即	教	准教	講	助	助	任・
	. /)		次	修	択	由	授	投授	師	教	手	兼担
	専門	農村女性論	3後		2		1					
	目コア	植物育種学	3後		2							1
	科	行動経済学	3後		2			1				
		小計(32科目)	_	28	35	0	8	5	0	1	0	4
	学 科際 目領 域	食農とメディア※	4後		2		3	1				
		小計(1科目)	_	0	2	0	3	1	0	0	0	0
		食農基礎実習※	1通	2			2	1		1		1
		食農基礎演習	1通	4			4	2		1		
		食農専門実習※	2通	2			4	3		0		1
専		食農専門演習	2通	4			4	3		0		
門		食品分析学実験	2後	2			2	2		0		1
教育		食農ファームステイ	2後	2			8	5		1		
科日		食農フィールドスタディ	3後	2			8	5		1		1
	総合	食品加工品質評価学実習	3前	1			1	1		0		1
	化科	食品安全評価学実験	3前	1			2	1		0		
	目	食農文化演習※	3前		2		1	1				
		食品機能学実験	3後		1		2					
		調理学実習	3後		2			1		0		2
		国際食農科学演習(一)	3前	2			8	5		1		
		国際食農科学演習(二)	3後	2			8	5		1		
		国際食農科学演習(三)	4前	2			8	5		1		
		国際食農科学演習(四)	4後	2			8	5		1		
		卒業論文	4通	4			8	5		1		
		小計(17科目)		32	5	0	8	5	0	1	0	6
	合	計(127科目)	—	86	157	6	8	5	0	1	0	85

卒業要件及び履修方法

必修科目84単位、選択必修科目16単位(実用英語科目の中から4単位、人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目24単位以上(ただし、学科専門科目の中から12単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

【平成29年度】

単位数 専任教員等の配置 配当年次 任 科目 区分 選 授業科目の名称 講 助 助 自 兼 担 教 1前 3 共通演習 7 4 1後 1 3 情報基礎(一) 1前 2 2 情報基礎(二) 1後 2 2 スポーツ・レクリエーション(一) 1前 1 2 スポーツ・レクリエーション(二) 1後 1 2 特別講義(一) 1前 2 1 特別講義(二) 1前 2 1 合教育科目 特別講義(三) 1前 2 特別講義(四) 1前 2 1 インターナショナル・スタディーズ(-1前 2 2 11 インターナショナル・スタディーズ(ニ 1後 2 1 キャリアデザイン 2前 1 ビジネスマナー 2前 インターンシップ 3後 1 1 基礎数学 1前 2 1 育デ 科イ 基礎社会 目ア 1前 2 1 文章表現 1前 2 小計(18科目) 7 17 6 7 4 0 3 0 24 英語(一) 1前 2 1後 英語(二) 2 英語(三) 2前 2 3 英語(四) 2後 2 3 TOEIC英語(一) 2前 2 6 TOEIC英語(二) 2後 2 6 英語リーディング(一) 3前 6 2 英語リーディング(二) 3後 6 2 英会話(一) 3前 2 3 英会話(二) 3後 3 2 科学英語 4前 2 3 ビジネス英語 4後 2 3 中国語(一) 1前 2 1 中国語(二) 1後 2 1 中国語(三) 2前 2 3 中国語(四) 2後 3 2 フランス語(一) 1前 2 語科 フランス語(二) 1後 2 フランス語(三) 2前 2 フランス語(四) 2後 2 1 スペイン語(一) 1前 2 初 スペイン語(二) 1後 2 スペイン語(三) 2前 2 2 国語 スペイン語(四) 2後 2 2 ブラジル・ポルトガル語(一) 1前 2 ブラジル・ポルトガル語(二) 1後 2 インドネシア語(一) 2 1前 2 インドネシア語(二) 1後 2 2 タイ語(一) 1前 2 タイ語(二) 1後 2 1 ハングル・韓国語(一) 1前 2 1 ハングル・韓国語(二) 1後

2

8 56 0 0 0 0 0 0

小計(32科目)

【平成30年度】

			配	ĺ	单位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	兼任
科区	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
	フレッシュマンセミナー 導 入 共通演習 科 情報基礎(一)		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	導		1前	2			8	3		3		2
	入		1後	1 2			8	3		3		۰
	Ë	情報基礎(二)	1前 1後	2								2
	ス											
	ポー 目ツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1							2
	関係	スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1							2
	科	特別講義(一)	1前		2							1
40	課	特別講義(二)	1前		2							1
総合	題別	特別講義(三)	1前		2							1
教育	科	特別講義(四)	1前		2							1
科目	目	インターナショナル・スタディーズ(一)※	1前		2		1	1				11
	就	キャリアデザイン	1後 2前		2		0					1
	職準	ビジネスマナー	2前 2前		1		0					1
	備 科 目	インターンシップ	3後		1		1					
	IJ		-		<u>'</u>	_	<u>'</u>					
	メ 育デ	基礎数学	1前			2						1
	科イ	基礎社会	1前			2						1
	ル	文章表現	1前			2						1
	教	小計(18科目)	_	7	17	6	8	3	0	3	0	25
	基	英語(一)	1前	2								4
	盤英	英語(二)	1後	2								4
	語科	英語(三)	2前	2								4
	目	英語(四)	2後	2								4
		TOEIC英語(一)	2前		2							5 -
	実	TOEIC英語(二)	2後		2							5
	用	英語リーディング(一)	3前		2							6
	英語	英語リーディング(二)	3後		2							6
	科目	英会話(一) 英会話(二)	3前		2							3
		科学英語	3後		2							3
		科子英語 ビジネス英語	4前		2							3
		中国語(一)	4後		2							3
			1前		_							
		中国語(二) 中国語(三)	1後 2前		2							1 2
		中国語(三) 中国語(四)	2削 2後		2							2
外国		フランス語(一)	1前		2							1
語科		フランス語(二)	1後		2							1
目		フランス語(三)	2前		2							1
		フランス語(四)	2後		2							1
		スペイン語(一)	1前		2							1
	初修	スペイン語(二)	1後		2							1
	外国	スペイン語(三)	2前		2							1
	語科	スペイン語(四)	2後		2							1
	B	ブラジル・ポルトガル語(一)	1前		2							1
		ブラジル・ポルトガル語(二)	1後		2							1
		インドネシア語(一)	1前		2							2
		インドネシア語(二)	1後		2							2
		タイ語(一)	1前		2							1
		タイ語(二)	1後		2							1
		ハングル・韓国語(一)	1前		2							1
		ハングル・韓国語(二)	1後		2							1
		小計(32科目)	_	8	56	0	0	0	0	0	0	25

			配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	人	哲学	1前		2							1
	間関	日本史	1後		2							1
	係科	文化人類学	1後		2							1
	目	環境倫理	2前		2							1
	社	法学入門	1前		2							1
	会関	政治のしくみ	1前		2							1
	係科	日本国憲法	1後		2							1
	目	地理学	2後		2							1
	自	生物学	1前		2							1
	然	化学	1前		2							1
	関係	数学	1後		2							1
	科目	物理学	1後		2							1
		地学	2後		2							1
		小計(13科目)	-	0	26	0	0	0	0	0	0	12
	専	栽培学入門※	1前		2			1				4
	門共	経営学入門	1後		2							1
	通科	経済学入門	1後		2							1
	目	畜産学入門	2前		2							1
	-	統計基礎 小計(5科目)	2前	0	10	0	0	1	0	0	0	8
	創	· J · B I \ \ \ \ ' 1 T D /	H		10	U			U	U	U	O
	日型	地域再生·活性化	1前		2							2
	科	小計(1科目)		0	2	0	0	0	0	0	0	2
		農学概論※	1前	2		U	1	U	U	1	U	6
		国際食農科学総論※	1前	2			4	1		•		
	専	栄養食品科学	1前	2			1					
	門基	国際地域農業論※	1前	_	2		1	3				
専	礎	食農基礎実験	1後	1			2	-		1		
門	科目	植物生産・生理学	1後	2			_	1		ľ		
教育	н	国際食農教育·学習論	1後	2			1	·				
科目		民俗学	2前		2							1
ľ		小計(8科目)		11	4	0	5	4	0	2	0	7
		食農野菜学	2前	2			1					
		食品加工学	2前	2						1		
		食品材料学(一)	2前	2			1					
		国際食農文化資源論	2前	2				1				
		フードスペシャリスト論	2前		2		1					
		グローバリゼーションと食品流通	2前		2					1		
		食育と食生活論	2前		2		1					
		食品衛生学	2後	2						1		
		食品材料学(二)	2後	2			1					
		食農作物学	2後	2				1				
	_	消費経済学	2後	2			1					
	専門	調理学	2後		2							1
	⊐	食農と協同組合	2後		2			1				
	ア科	グローバリゼーションとフェアトレード	2後		2					1		
	目	食農文化論※	2後		2		2					
		食農政策法制論	3前	2				1				
		農村社会学	3前	2			1					
		地域活性化論	3前	2						1		
		比較農業史	3前	2			1					
		持続的農業論	3前		2			1				
		食品機能学	3前		1		1					
		食農果樹学	3前		2			1				
		土壌肥料学	3前		2							1
		農業経営学	3後	2						1		
		国際食農商品戦略論※	3後	2			1	2		1		
1		農業生産と気象	3後		2		1					

			配	<u>Î</u>	单位数	汝	専	任教	7員等	の配	置	兼任
	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担
	人間	哲学	1前		2							1
	関	日本史	1後		2							1
	係科	文化人類学	1後		2							1
	目	環境倫理	2前		2							1
	社	法学入門	1前		2							1
	会関	政治のしくみ	1前		2							1
	係科	日本国憲法	1後		2							1
	目	地理学	2後		2							1
	自	生物学	1前		2							1
	然	化学	1前		2							1
	関係	数学	1後		2							1
	科目	物理学	1後		2							1
		地学	2後		2							1
		小計(13科目) 栽培学入門※	1#	0	26 2	0	0	<u>0</u> 1	0	0	0	12 4
	専		1前 1後		2			'				
	門共	経済学入門										1
	通科	経済学入門 畜産学入門	1後		2							1
	Ħ	新生子人门 統計基礎	2前 2前		2							1
	-	机計基礎 小計(5科目)	2前 —	0	10	0	0	1	0	0	0	8
	創			Ť	.,,	Ĭ	Ť		Ĭ	Ĭ	Ŭ	Ť
	日型	地域再生·活性化	1前		2							3
	科	小計(1科目)		0	2	0	0	0	0	0	0	3
		農学概論※	1前	2	_	Ŭ	1			1	J	6
		国際食農科学総論※	1前	2			4	1				
	専	栄養食品科学	1前	2			1					
	門基	国際地域農業論※	1前		2		2	2				
専	礎	食農基礎実験	1後	1			2			1		
門 教	科目	植物生産·生理学	1後	2				1				
育	_	国際食農教育·学習論	1後	2			1					
科目		民俗学	2前		2							1
		小計(8科目)	_	11	4	0	6	3	0	2	0	7
		食農野菜学	2前	2			1					
		食品加工学	2前	2						1		
		食品材料学(一)	2前	2			1					
		国際食農文化資源論	2前	2				1				
		フードスペシャリスト論	2前		2		1					
		グローバリゼーションと食品流通	2前		2					1		
		食育と食生活論	2前		2		1					
		食品衛生学	2後	2						1		
		食品材料学(二)	2後	2			1					
		食農作物学	2後	2			1					
	声	消費経済学	2後	2	_		1					
	専門	調理学	2後		2							1
	コ	食農と協同組合	2後		2			1				
	ア科	グローバリゼーションとフェアトレード	2後		2					1		
	目	食農文化論※	2後		2		2					
		食農政策法制論	3前	2				1				
		農村社会学	3前	2			1					
		地域活性化論	3前	2						1		
		比較農業史	3前	2	_		1					
		持続的農業論	3前		2		1	0				
		食品機能学	3前		1		1					
		食農果樹学 土壌肥料学	3前		2			1				
		工場肥料子 農業経営学	3前 3後	,	2					1		1
		辰耒柱呂子 国際食農商品戦略論※		2				2		1		
		農業生産と気象	3後 3後	_	2		1			'		
<u> </u>		火木工圧 C X 外	リタ									

-	_		配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	日 分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	•
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		フードコーディネート論	3後		2							1
	専門	学習と参加の理論	3後		2		1					
	=	比較食文化史	3後		2		1					
	ア科	農村女性論	3後		2		1					
	目	植物育種学	3後		2							1
		行動経済学	3後		2			1				
		小計(32科目)		28	35	0	7	4	0	3	0	4
	学際 目領域	食農とメディア※	4後		2		3	1				
		小計(1科目)		0	2	0	3	1	0	0	0	0
		食農基礎実習※	1通	2			1	2		1		1
		食農基礎演習	1通	4			4	2		1		
専門		食農専門実習※	2通	2			2	2		2		1
教		食農専門演習	2通	4			4	2		2		
育科		食品分析学実験	2後	2			2			1		1
目		食農ファームステイ	2後	2			7	4		3		
		食農フィールドスタディ	3後	2			7	4		3		
	総合	食品加工品質評価学実習	3前	1			1			1		2
	化	食品安全評価学実験	3前	1			2			1		
	科目	食農文化演習※	3前		2		1	1				
		食品機能学実験	3後		1		2					
		調理学実習	3後		2					1		2
		国際食農科学演習(一)	3前	2			7	4		3		
		国際食農科学演習(二)	3後	2			7	4		3		
		国際食農科学演習(三)	4前	2			7	4		3		
		国際食農科学演習(四)	4後	2			7	4		3		
		卒業論文	4通	4			7	4		3		
	小計(17科目)		_	32	5	0	7	4	0	3	0	6
	合計(127科目)			86	157	6	7	4	0	3	0	80

卒業要件及び履修方法

必修科目84単位、選択必修科目16単位(実用英語科目の中から4単位、人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目24単位以上(ただし、学科専門科目の中から12単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

			配	Í	单位数	女	専	任教	(員等	の配	置	兼 任
	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		フードコーディネート論	3後		2							1
	専門	学習と参加の理論	3後		2		1					
	; ;	比較食文化史	3後		2		1					
	ア科	農村女性論	3後		2		1					
	目目	植物育種学	3後		2							1
		行動経済学	3後		2			1				
		小計(32科目)		28	35	0	8	3	0	3	0	4
	学 科際 目領 域	食農とメディア※	4後		2		3	1				
		小計(1科目)		0	2	0	3	1	0	0	0	0
		食農基礎実習※	1通	2			3	1		1		1
_		食農基礎演習	1通	4			4	2		1		
専門		食農専門実習※	2通	2			4	1		2		1
教		食農専門演習	2通	4			4	2		1		
育科		食品分析学実験	2後	2			2			1		1
目		食農ファームステイ	2後	2			8	3		3		
		食農フィールドスタディ	3後	2			8	3		3		
	総合	食品加工品質評価学実習	3前	1			1			1		2
	化	食品安全評価学実験	3前	1			2			1		
	科目	食農文化演習※	3前		2		1	1				
		食品機能学実験	3後		1		2					
		調理学実習	3後		2					1		2
		国際食農科学演習(一)	3前	2			8	3		3		
		国際食農科学演習(二)	3後	2			8	3		3		
		国際食農科学演習(三)	4前	2			8	3		3		
		国際食農科学演習(四)	4後	2			8	3		3		
		卒業論文	4通	4			8	3		3		
	小計(17科目)		_	32	5	0	8	3	0	3	0	6
	小計(1/科目) 合計(127科目)			86	157	6	8	3	0	3	0	82

卒業要件及び履修方法

必修科目84単位、選択必修科目16単位(実用英語科目の中から4単位、人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目24単位以上(ただし、学科専門科目の中から12単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

		元年度】	配	Ì	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科区	日分	授業科目の名称	当年	必	選	白	教	准教	講	助	助	
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
	導	フレッシュマンセミナー	1前	2			8	4		2		2
	入科	共通演習	1後	1			8	3		2		
	目	情報基礎(一)	1前	2								2
	7	情報基礎(二)	1後	2								2
	係ポー	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1							2
	目ツ関	スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1							2
		特別講義(一)	1前		2							1
総	課	特別講義(二)	1前		2							1
合	題別	特別講義(三)	1前		2							1
教 育	科目	特別講義(四)	1前 1前		2		1	1				1 11
科目		インターナショナル・スタディーズ(二)	1後		2		'	'				1
_	就	キャリアデザイン	2前		1		0					1
	職 目準 備	ビジネスマナー	2前		1		0					1
	科	インターンシップ	3後		1		0					1
	リメ	基礎数学	1前			2						1
	育デ科ィ	基礎社会	1前			2						1
	目アル											
	教	文章表現	1前			2						1
	*	小計(18科目)	_	7	17	6	8	3	0	2	0	25
	基盤	英語(一) 英語(二)	1前	2								4
	英語	英語(三)	1後 2前	2								4
	科目	英語(四)	2後	2								4
		TOEIC英語(一)	2前		2							6
		TOEIC英語(二)	2後		2							6
	実用英語	英語リーディング(一)	3前		2							5
		英語リーディング(二)	3後		2							5
	科	英会話(一) 英会話(二)	3前		2							3
	目	科学英語	3後 4前		2							3
		ビジネス英語	4後		2							3
		中国語(一)	1前		2							1
		中国語(二)	1後		2							1
ы		中国語(三)	2前		2							2
外国		中国語(四)	2後		2							2
語科		フランス語(一) フランス語(二)	1前		2							1
目		フランス語(二)フランス語(三)	1後 2前		2							1
		フランス語(四)	2後		2							1
	初修	スペイン語(一)	1前		2							1
	外国	スペイン語(二)	1後		2							1
	語科	スペイン語(三)	2前		2							1
	目	スペイン語(四)	2後		2							1
		ブラジル・ポルトガル語(一) ブラジル・ポルトガル語(二)	1前		2							1
		インドネシア語(一)	1後 1前		2							1 2
		インドネシア語(二)	1後		2							2
		タイ語(一)	1前		2							1
		タイ語(二)	1後		2							1
		ハングル・韓国語(一)	1前		2							1
		ハングル・韓国語(二)	1後		2							1
		小計(32科目)	<u> </u>	8	56	0	0	0	0	0	0	2

単位数 専任教員 単位数 専任教員 単位数 専任教員		助手	任·兼担 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
 本次 修 択 由 授 授 師 大	教	手	担 1 1 1 1 1 1 1
大			1 1 1 1 1 1 1
間間日本史 1後 2 「後年日本国 2 1後 2 日本国 2 1前 2 日本国憲法 1後 2 日本国憲法 1後 2 日本国学 2後 2 生物学 1前 2 日本国学 16 2			1 1 1 1 1 1
科 次に			1 1 1 1
目環境倫理 2前 社 法学入門 1前 会関政治のしくみ 1前 係日本国憲法 1後 目地理学 2後 生物学 1前 然 化学 1前 係 2 1前 2 2 2 1前 2 2 2 1前 2 2 3 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 5 4 6 4 6 4 7 4 8 4 8 4 8 4 9 4 8 4 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 10 4 10 4 10 4 10 4 10 4 10 4 10 4 10 4 10 4 <td< td=""><td></td><td></td><td>1 1 1</td></td<>			1 1 1
会 関 政治のL〈み 1前 2 日本国憲法 1後 2 日本国憲法 1後 2 日本 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1
関 政治のしくみ 1前 2 係 日本国憲法 1後 2 目 地理学 2後 2 自 生物学 1前 2 然 化学 1前 2 頻 数学 1後 2			1
科 10 日 地理学 2 2 日 生物学 1前 2 然 1前 2 2 日 10 2 2 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3			1
生物学 1前 2			-
			٠.
			1
			1
┃ ┃ 科 ┃ 物理学			1
世 地学 2後 2			1
小計(13科目) — 0 26 0 0 0 0	0	0	12
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			3
門 経営学入門 1後 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4			1
			1
			1
二 統計基礎 2前 2 小計(5科目) 0 10 0 0 1 0	0	0	7
創	0	U	
目型 地域再生·活性化 1前 2			3
	0	0	3
農学概論※ 1前 2 1	1	U	6
国際食農科学総論※ 1前 2 4 1	1.		ľ
専 労業会 日刊 学 「			
一	0		
専 科 植物生産・生理学 1後 2 1 1 1			
E			
▋育 民俗学			1
科	1	0	7
食品加工学 2前 2 1	0		
食品材料学(一) 2前 2 1			
国際食農文化資源論 2前 2 1 1 1 フードスペシャリスト論 2前 2 1 1			
フードスペシャリスト論 2前 2 1 1 グローバリゼーションと食品流通 2前 2	1		
食育と食生活論 2前 2 1	Ι'		
食品衛生学 2後 2 1 1	0		
食品材料学(二) 2後 2 1	Ĭ		
食農作物学 2後 2 1			
消費経済学 2後 2 1			
調理学 2後 2			1
専 食農と協同組合 2後 2 1			
門 グローバリゼーションとフェアトレード 2後 2	1		
コ 食農文化論※ 2後 2 2 2			
科 食農政策法制論 3前 2 1 1			
地域活性化論 3前 2	1		
比較農業史 3前 2 1			
持続的農業論 3前 2 1 0			
食品機能学 3前 1 1 1 1 1			
			4
	1		1
国際食農商品戦略論※ 3後 2 1 3	0		
農業生産と気象 3後 2 1			
フードコーディネート論 3後 2			1
学習と参加の理論 3後 2 1			
比較食文化史 3後 2 1			

			配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
	. 71		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	専	農村女性論	3後		2		1					
	科門目コ	植物育種学	3後		2							1
	"ア	行動経済学	3後		2			1				
		小計(32科目)		28	35	0	8	4	0	2	0	4
	学 科際領 域	食農とメディア※	4後		2		3	1				
		小計(1科目)	_	0	2	0	3	1	0	0	0	0
		食農基礎実習※	1通	2			3	1		1		1
		食農基礎演習	1通	4			4	2		1		
		食農専門実習※	2通	2			4	1		2		1
専		食農専門演習	2通	4			4	2		1		
門教		食品分析学実験	2後	2			2			1		1
育		食農ファームステイ	2後	2			8	3		2		
科日		食農フィールドスタディ	3後	2			8	3		2		
-	総合	食品加工品質評価学実習	3前	1			1			1		1
	化	食品安全評価学実験	3前	1			2			1		
	科目	食農文化演習※	3前		2		1	1				
		食品機能学実験	3後		1		2					
		調理学実習	3後		2			1		0		2
		国際食農科学演習(一)	3前	2			8	4		2		
		国際食農科学演習(二)	3後	2			8	4		2		
		国際食農科学演習(三)	4前	2			8	4		2		
		国際食農科学演習(四)	4後	2			8	4		2		
		卒業論文	4通	4			8	4		2		
	小計(17科目)		-	32	5	0	8	4	0	2	0	4
	合計(127科目)			86	157	6	8	4	0	2	0	78
		Ž	卒業男	[件及	び履	修方法	Ė					

必修科目84単位、選択必修科目16単位(実用英語科目の中から4単位、人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目24単位以上(ただし、学科専門科目の中から12単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、各年度については、翌<u>可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。</u> 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。

 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【平成29年度】

- ・時間割調整の理由により、「フレッシュマンセミナー」の専任教員等の配置を「兼0」から「兼2」に変更。
 ・時間割調整の理由により、「インターナショナル・スタディーズ(一)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
 ・時間割調整の理由により、「インターナショナル・スタディーズ(一)」の専任教員等の配置を「兼9」から「兼11」に変更。
 ・クラス数域加の理由により、「英語(一)及び(二)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
 ・クラス数減少の理由により、「中語(一)及び(二)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
 ・クラス数減少の理由により、「スペイン話(一)及び(二)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 ・クラス数域加の理由により、「地域再生・活性化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 ・ 教職課程認定の理由により、「農学概論」を新規追加。

【平成30年度】

- 「教授7」から「教授8」

- 「兼0」から「兼1」に変更。

- 【令和元年度】
- 【 **・ 谷**岡専任助教、専任准教授採用により、専任教員等の配置を変更。
 「フレッシュマンセミナー」「共通演習」「食農ファームステイ」「食農フィールドスタディ」「国際食農科学演習 (一)」「国際食農科学演習 (二)」
 「国際食農科学演習 (三)」「国際食農科学演習 (四)」「卒業論文」/「准教授3」から「准教授4」、「助教3」から「助教2」へ変更。
 「食農基礎実習」/「准教授1」から「准教授2」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 「食農基礎実習」/「准教授1」から「准教授2」、「助教1」から「助教1」から「助教1」へ変更。
 「調理学実習」/「准教授0」から「推教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 「調理学実習」/「准教授0」がら「推教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 ・クラス数増加により、「TOEIC英語 (一)」「TOEIC英語 (二)」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」へ変更。
 ・クラス数増加により、「英語リーディング (一)」「英語リーディング (二)」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼5」へ変更。
 ・時間割調整の理由により、「栽培学入門」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼3」へ変更。
 ・時間割調整の理由により、「栽培学入門」の専任教員等の配置を「兼4」から「末3」へ変更。

【令和2年度】

- 収 0] に及更。 ・時間割調整の理由により、「食農基礎実習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。 ・教員の昇格の理由により、「食農専門実習」「食農専門演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「助教1」から「助教0」に変更。 ・教員の昇格及び教育効果向上の理由により、「食品分析学実験」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」、「助教1」から「助教0」に変更。 ・教員の昇格及び教育効果向上の理由により、「食農ファームステイ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授5」、「助教2」から「助教1」に変 ・教員の昇格及び教育効果向上の理由により、「食農ファームステイ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授5」、「助教2」から「助教1」に変
- ・ ・ 教員の昇格及び教育効果向上の理由により、「食農フィールドスタディ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授5」、「助教2」から「助教
- ・教員の昇格の理由により、「食品加工品質評価学実習」「食品安全評価学実験」の専任教員等の配置を「准教授O」から「准教授1」、「助教1」から「助
- おり」にまた。 ・教員の昇格の理由により、「国際食農科学演習(一)」「国際食農科学演習(二)」「国際食農科学演習(三)」「国際食農科学演習(四)」「卒業論文」 の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」、「助教2」から「助教1」に変更。
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

I			=	0置時	の計画							変更	状況				備考
	必修	₹	選択	7	自日	∄	計(A	۹)	必	廖	選扎	R	自	由	計		1用行
	41	科目	82	科目	3	科目	126	科目	42 [1	科目	82 [—	科目	3	科目	127 [1	科目]	教職課程認定における必修科目の 追加 (29)

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	_					
2	該当なし					
3	_					

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし	

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	126	_	0 36

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区	分				内				容		備考						
(1)		区 分		専	用	共	用		は用する他の 単校等の専用		計	東京農業大学第一高等学校(収容定員1,050人、面積基						
	:	校舎敷均	也	35	4, 079. 78 m²		$0\mathrm{m}^2$	-	15, 350. 7	6 m²	369, 430. 54 m	準 運動場8,400㎡)、中等部 (収容定員450人、面積基準						
校		運動場用地			1, 147. 98 m ²		30, 935. 81 m ²		6, 453. 9		68, 537. 78 m	-						
		小 計	Γ		5, 227. 76 m ² 4, 609. 34 m ²		30, 935. 81 m ²		21, 804. 75 m²		437, 968. 32 m ² 4, 664, 609. 34 m ²	借用期間:60年						
地		その他	<u>b</u>	-	4, 688. 34 m²						, 664, 688. 34 m	更が判明したため (元)						
					5, 550. 34 m ²		$0\mathrm{m}^2$			0 m ² 2	君津の土地売却のため(29)							
等		合 함	L	,	3, 049, 837. 10 m ² 3, 049, 916. 10 m ²					l l	, 049, 837. 10 m , 102, 656. 66 m							
			'		0, 778. 10 m ²		30, 935. 81 m²		21, 804. 7		, 102, 500. 66 m							
				車	用	共	用		は用する他の ************************************		計	東京農業大学短期大学部 (収容定員0人、面積基準						
				- 00				子	学校等の専用			2,000㎡) の学生が在学しな						
					8, 778. 35 m²						238, 778. 35 m	同短期大学部と共用						
				23	8, 911. 51 m ²						238, 911. 51 m	建物増築及び改修工事等に よる用途変更のため(2)						
(2) 校	5	舎		23	8, 894. 66 m ²						238, 894. 66 m	建物増築及び改修工事等に よる用途変更のため(元)						
()	•			19	0, 347. 54 m²						190, 347. 54 m	建物増築及び改修工事等に よる用途変更のため(30)						
				19	2, 434. 29 m²		$0\mathrm{m}^2$			0m^2	192, 434. 29 m	再設学如笠におけるみ修丁						
				(106.	049. 17 m²)	(8	32, 276. 89 m²)		(4, 108. 23 n	₁ 2)		(29)						
				` ′	326. 99 m²)		32, 976, 27 m²)				92, 434. 29 m²)							
			ı	-(100,	1	,	` ' ' '		-(4, 131. 03 m²)			大学全体						
			講	義室	演	室 室	実験実習	室	情報処理学習	習施設 語	学学習施設	建物増築及び改修工事等による 用途変更のため(2)						
						79室		735室				建物増築及び改修工事等による 用途変更のため(元)						
(3) 教	至	等				79至 61室		649室		8室	1室	用途変更のため(30)						
				101室		116室		867室 682室				既設学部等における改修工事等 による用途変更のため(29)						
				103 室	=	100室		673室	(補助職員	2人) (補	助職員 0人)							
					新設学部	等の名称	•		室	数		建物増築及び改修工事等に よる用途変更のため(30)						
(4) 恵	红数 旨	研究室									14	改修工事完了に伴う増加 (29)						
(4) 3	一八次	初九王		国際食	料情報学部	国際食島	農科学科				9 室	(29)						
											4							
(5)	新設学部等			図 書 ち外国書〕		雑誌 小国書〕	電子ジャー	+ JL	視聴覚資料	機械・器具	標本	図書が完成年度の予定数値 に達しなかったのは、蔵書						
(0)	0	の名称	一日日から			種〔うち外				点	i 点							
									6, 597			学術雑誌:契約変更による減(2)						
									6, 524			視聴覚:新規購入による増 (2)						
												機械・器具:新規購入によ る増加(2)						
									6, 403			図書:新規購入による増(元)						
									6, 296			学術雑誌:契約変更による 増(元)						
			351 (37 [42, 103]	10, 535 [7 139]	7, 322 [6, 5	70]	6, 143	425	33, 777	視聴覚:新規購入による増						
		:料情報学部 食農科学科									00, 111	(元) 機械・器具:新規購入によ						
			(335, 5	[28 [41, 656]	(17, 358	10, 214」)	(8, 310 [8,	102])	(6, 597)	(512)		る増加(元) 標本:新規購入による増加						
			(332, 2	05 (41, 401)	(17, 731 [10, 682)	(8, 768 [8,	583])	(6, 524)	(262)	=	(元) 図書:除籍による減(30)						
			(326, 6	33 (41, 105)	(9, 210	(6, 278)	(5, 830 [5,	688])	(6, 403)	(132)	_	学術雑誌:契約変更による 減(30)						
			, ,		(-,						(00.550)	視聴覚:新規購入による増 (30)						
図書			()	736 [40, 962]	(==,===	(7, 076))	(7, 264 [6,	o∪o↓)	(6, 296)	- (108) -	(33, 778)	機械・器具:新規購入によ る増加 (30)						
•			(322, 3	375 (39, 908)	(10, 535	(7, 139)	-(7, 322 [6,	570])	(6, 143)	(259)	-(33, 777)	図書:新規購入による増加 (29)						
設備									6, 597			学術雑誌:契約変更による						
VĦ									6, 524			減少(29) 視聴覚資料:新規購入によ						
												る増加 (29) 機械・器具:新規購入を上						
									6, 403			回る除却(29) ○図書						
									6, 296			(大学全体での共用分 299,323冊 [32,632冊])						
			351 0	037 [42, 103]	10, 535 [7 1391	7, 322 [6, 5	70]	6, 143	425	33, 777	○学術雑誌、電子ジャーナル(世田谷・厚木キャンパスタイト)						
		計						-			00, 111	ル数) ○視聴覚資料						
	āT		(335, 5	28 [41, 656]	(17, 358 [10, 214))	(8, 310 [8,	102])	(6, 597)	(512)		(世田谷・厚木キャンパス全所						
							1				1		i	/>	1	蔵		
•									(332, 2	05 (41, 401)	(17, 731 (10, 682)	(8, 768 [8,	583])	(6, 524)	-(262) -	=	○機械・器具
			(,-	(,,	(21)					, ,	_	学部全体 ○標本						
			(326, 6	33 [41, 105]	(9, 210	(6, 278)	(5, 830 (5,	688))	(6, 403)	(132)	_	学部全体						
			(326, 6	(,,	(9, 210			688))		, ,	(33, 778)	学部全体 ○標本 学部単位での特定不能なた						
			(326, 6	33 [41, 105]	(9, 210 (10, 507	(6, 278)	(5, 830 (5,	688]) 505])	(6, 403)	(132)	- (33, 778) - (33, 777)	学部全体 ○標本 学部単位での特定不能なた						

(6) 図	書	館	面	積		Ē	閲覧層	座 席 数		収	納豆	能	m	数	大学全体
(0) 🗵		86		8, (026. 19 m²				1, 383				1, 1	62, 000	
(3) #		**	面	積				体育館以外	外のスプ	ポーツ施	設の概要	Ę			大学全体 既存施設の用途変更のため
(7) 体	育	館		10, 3	371. 27 m²	野 球	t	場 2	面	テニ	ス:	ı —	·	4 面 6 面	
		Þ	≤ 分	開設年	F度 S	完成年度	区	分	開設前	前年度	開設年	度	完成	年度	図書費には電子ジャーナ ル・データベースの整備費 及び雑誌資料費を含む。
(8)	経費	数昌 1	人当り研究費等	334	4千円	343千円	छा≢	購入費			1, 542	4千円	7, 3	62千円	開設前年度については平成 28年度決算を受けて実績に
経費の見 積り及び	程見の見	狄 貝「	八日り明九貝寺	331	1千円	317千円	Ω Ω	5 牌八貝		0千円	2, 83	手円	10, 9	44千円	変更 (30) 開設年度については平成29 年度決算を受けて実績に変
維持方法 の概要	恨り	共 同	研究費等	1,081	1千円	977千円			26, 9	962千円 52, 212月		4千円	11,086千円 更(元) 完成年度		更(元) 完成年度については令和2年
		共 问	圳 九 貝 守	8, 85 2	2千円	6, 685千円	設備購. 6,685千円		35, 9	35, 989手円 61		手円	16, 9	14千円	度当初予算を受けて変更 (2)
		1 人当 り	第1年次 第		年次	第3年	次	第 4 年	次	第:	5年次		第6年	下次	
		付金	1,485.6千円 1,		65.6千円	1, 315	. 6千円	1,365.6千円		一 千円		Э	一 千円		
	学生	納付金	・ 以外の維持方法の	概要	以立大学等経常費補助金収入、寄付金収入、手数料収入 等										

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

 - を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東	京農	業大	:学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度		
農学部	4	558	人 —	2, 074	_	1. 05	1. 04	_	-	神奈川県厚木市	
農学科	4	170	_	730	学士 (農学)	1. 07	1. 06	_	昭和24	船子1737 同上	H30入学定員変更(△50) H31編入定員変更(△16)
動物科学科	4	140	_	600	学士(農学)	1. 05	1. 04	_	昭和24	同上	H30入学定員変更 (△40) H31編入定員変更 (△10)
<u>生物資源開発学科</u>	4	125	_	375	学士(農学)	1. 05	1. 04	-	平成30	同上	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
<u>デザイン農学科</u>	4	123	_	369	学士(農学)	1. 03	1. 01	_	平成30	同上	
バイオセラピー学科	4	-	_	-	学士 (農学)	_	-	-	平成18	同上	平成30年度学生募集停止
応用生物科学部	4	570	_	2, 250	_	1. 05	1. 04	_			
農芸化学科	4	150	-	590	学士 (応用生物 科学)	1. 06	1. 03	_	平成10	東京都世田谷区 桜丘1-1-1	入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△10)
醸造科学科	4	150	_	590	学士 (応用生物 科学)	1. 05	1. 03	_	平成10	同上	入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△20)
食品安全健康学科	4	150	-	590	学士(応用生物 科学)	1. 04	1.04	-	平成26	同上	入学定員変更(10) H31編入定員変更(△10)
栄養科学科	4	120	_	480	学士(応用生物 科学)	1. 04	1. 10	_	平成10	同上	H31編入定員変更(△4)
<u>生命科学部</u>	4	410	_	1, 600	_	1. 05	1. 03	平成30		東京都世田谷区 桜丘1-1-1	
<u>バイオサイエンス学科</u>	4	150	-	590	学士 (農学)	1. 05	1. 03	平成30	平成29	同上	入学定員変更(10)
分子生命化学科	4	130	_	505	学士 (農学)	1. 04	1. 03	平成30	平成29	同上	入学定員変更(15)
<u>分子微生物学科</u>	4	130	_	505	学士 (農学)	1. 06	1. 03	平成30	平成29	同上	入学定員変更(15)
地域環境科学部	4	490	_	1, 910	_	1. 04	1. 03	_		東京都世田谷区 桜丘1-1-1	
森林総合科学科	4	130	_	510	学士(地域環境 科学)	1. 05	1. 04	_	平成10	同上	入学定員変更(10) H31編入定員変更(△6)
生産環境工学科	4	130	_	510	学士 (地域環境 科学)	1. 04	1. 03	_	平成10	同上	入学定員変更(10) H31編入定員変更(△3)
造園科学科	4	130	-	510	学士 (地域環境 科学)	1. 04	1. 02	_	平成10	同上	入学定員変更(10) H31編入定員変更(△20)
<u>地域創成科学科</u>	4	100	_	380	学士 (農学)	1. 05	1. 05	平成30	平成29	同上	入学定員変更(20)
国際食料情報学部	4	600	_	2, 360	_	1. 05	1. 03	_		東京都世田谷区 桜丘1-1-1	
国際農業開発学科	4	150	_	590	学士 (国際食料 情報学)	1. 04	1. 04	_	平成10	同上	入学定員変更(10) H31編入定員変更(△10)
食料環境経済学科	4	190	_	750	学士 (国際食料 情報学)	1. 05	1. 04	_	平成10	同上	入学定員変更(10) H31編入定員変更(△10)
国際バイオビジネス学科	4	150	_	590	学士 (国際食料 情報学)	1. 05	1. 01	_	平成10	同上	入学定員変更(10) H31編入定員変更(△5)
国際食農科学科	4	110	-	430	学士 (農学)	1. 05	1. 03	平成30	平成29	同上	入学定員変更(10)
生物産業学部	4	363	_	1, 440	_	1. 06	1. 01	_		北海道網走市 八坂196	
北方圏農学科	4	91	_	401	学士 (農学)	1. 07	1. 02	_	平成1	同上	R2編入定員変更(△10)
海洋水産学科	4	91	_	331	学士 (農学)	1. 08	1. 03	_	平成18	同上	
食香粧化学科	4	91	_	343	学士 (農学)	1. 01	0.89	_	平成1	同上	R2編入定員変更(△12)
自然資源経営学科	4	90	_	365	学士 (農学)	1. 09	1. 10	_	平成1	同上	R2編入定員変更 (△5)
大学全体	-	2, 991		11, 634	_	_	_	_	-	_	

大学の名称	東	京農	業大	、 学 大	学院						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
農学研究科 博士前期課程	2	132	_	264	_	0. 94	0. 93	_		神奈川県厚木市	
農学専攻	2	14	_	28	修士 (農学)	0. 96	0. 92	_	昭和28	船子1737	
畜産専攻 	2	12	_	24	修士(畜産学)	1. 16	1. 16	_	昭和61	同上	
バイオセラピー学専攻	2	10	_	20	修士(バイオセラピー学)	0. 55	0. 60	_	平成22	同上 東京都世田谷区	
バイオサイエンス専攻	2	30	_	60	修士 (パイオサイエンス)	1. 13	1. 16	_	平成14	桜丘1-1-1	
農芸化学専攻	_	_	_	-	修士 (農芸化 学)	_	_	_	昭和32	同上	令和2年度学生募集停止
醸造学専攻	_	_	_	_	修士 (醸造学)	_	_	_	平成2	同上	令和2年度学生募集停止
食品栄養学専攻	_	_	_	_	修士(食品栄養 学)	_	_	_	昭和61	同上	令和2年度学生募集停止
林学専攻	2	12	_	24	修士 (林学)	0. 66	0. 50	_	昭和61	同上	
農業工学専攻	2	8	_	16	修士(農業工 学))	0. 81	0. 37	_	平成2	同上	
造園学専攻	2	12	_	24	修士 (造園学)	0. 79	0. 83	_	平成2	同上	
国際農業開発学専攻	2	12	_	24	修士 (国際農業 開発学)	1. 66	1. 58	_	平成2	同上	
農業経済学専攻	2	10	_	20	修士 (農業経済 学)	0. 75	0. 90	_	昭和28	同上	
国際バイオビジネス学専攻	2	12	_	24	修士(国際バイ オビジネス学)	0. 66	0. 75	_	平成14	同上	
修士課程 食品安全健康学專攻	_	_	_	_	修士 (食品安全 健康学)	_	-	_	平成30	同上	令和2年度学生募集停止
博士後期課程	3	44	_	132	_	0. 61	0. 47	_		4.4	
農学専攻	3	5	_	15	博士 (農学)	0. 46	0. 40	_	昭和37	神奈川県厚木市 船子1737	
畜産専攻	3	4	_	12	博士(畜産学)	0. 41	0. 50	_	平成2	同上	
バイオセラピー学専攻	3	3	_	9	博士 (バイオセ ラピー学)	0. 55	0. 66	_	平成24	同上	
バイオサイエンス専攻	3	6	_	18	博士 (バイオサ イエンス)	0. 71	0. 66	_	平成16	東京都世田谷区 桜丘1-1-1	
農芸化学専攻	-	_	_	_	博士 (農芸化 学)	_	_	_	昭和34	同上	令和2年度学生募集停止
醸造学専攻	-	_	_	_	博士(醸造学)	_	_	_	平成14	同上	令和2年度学生募集停止
食品栄養学専攻	_	_	_	-	博士 (食品栄養 学)	_	-	_	平成14	同上	令和2年度学生募集停止
林学専攻	3	4	_	12	博士 (林学)	0. 25	0. 25	_	平成2	同上	
農業工学専攻	3	2	_	6	博士 (農業工学)	1. 50	1. 00	_	平成14	同上	
造園学専攻	3	3	_	9	博士 (造園学)	0. 33	0. 33	_	平成14	同上	
国際農業開発学専攻	3	2	_	6	博士 (国際農業 開発学)	1. 66	1. 50	_	平成14	同上	
農業経済学専攻	3	5	_	15	博士 (農業経済学)	0. 33	0. 20	_	昭和37	同上	
国際バイオビジネス学専攻	3	5	_	15	博士 (国際バイ オビジネス学)	0. 33	0. 20	_	平成16	同上	
環境共生学専攻	3	5	_	15	博士 (環境共生学)	0. 86	0. 40	_	平成2	同上	
<u>応用生物科学研究科</u> 博士前期課程	2	76	_	76	_	1. 03	1. 03	_			
農芸化学専攻	2	30	_	30	修士 (農学)	1. 03	1. 03		令和2	東京都世田谷区 桜丘1-1-1	
<u>醸造学専攻</u>	2	20	_	20	修士 (農学)	1. 15	1. 15	_	令和2	同上	
<u>食品安全健康学専攻</u>	2	20	_	20	修士 (農学)	0. 85	0. 85	_	令和2	同上	
<u>食品栄養学専攻</u>	2	6	_	6	修士 (農学)	1. 33	1. 33	_	令和2	同上	

建工多型無 和	3	10		10	1	0.00	0.22					
博士後期課程		12	_	12	_	0. 33	0. 33		A == 0			
<u>農芸化学専攻</u>	3	5	_	5	博士(農学)	0. 40	0. 40	_	令和2	同上		
<u>醸造学専攻</u>	3	2	_	2	博士 (農学)	0. 50	0. 50	_	令和2	同上		
<u>食品安全健康学専攻</u>	3	3	_	3	博士 (農学)	0. 00	0.00	_	令和2	同上		
<u>食品栄養学専攻</u>	3	2	-	2	博士(農学)	0. 50	0.50	_	令和2	同上		
生物産業学研究科 博士前期課程	2	20	_	40	_	1. 17	1. 40	_				
生物生産学専攻	2	7	_	14	修士 (生物産業 学)	0. 99	1. 42	_	平成22	北海道網走市 八坂196		
アクアバイオ学専攻	2	5	-	10	修士 (生物産業 学)	1. 40	1. 40	_	平成22	同上		
食品香粧学専攻	2	5	_	10	修士 (生物産業 学)	1. 60	1.80	_	平成22	同上		
産業経営学専攻	2	3	_	6	修士 (生物産業 学)	0. 49	0. 66	_	平成22	同上		
博士後期課程	3	8	_	24	_	0. 58	0. 37	_				
生物産業学専攻	3	8	_	24	博士 (生物産業 学又は経営学)	0. 58	0. 37	_	平成7	同上		
大学院全体	_	292	_	548	_	_	_	_	_	_		
大学の名称	東	京情	報大	学	T			中昌亦市		T	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	倍					
40 A 15 45 W 45			人									
総合情報学部	4	400	人 10	1, 620	一	1. 13	1. 15	_	_	千 楚		
総合情報学部 総合情報学科			人		一 学士 (総合 情報学)			_	— 平成25	千葉県千葉市若 葉区御成台4-1		
	4	400	人 10	1, 620		1. 13	1. 15	1 1	— 平成25			
総合情報学科	4	400 400	人 10	1, 620 1, 620	情報学) 一 学士(看護	1. 13 1. 13	1. 15 1. 15		一 平成25 一 平成29			
総合情報学科看護学部	4 4	400 400 100	人 10	1, 620 1, 620 400	情報学)	1. 13 1. 13 0. 93	1. 15 1. 15 0. 93	_	_	葉区御成台4-1		
総合情報学科看護学部	4 4	400 400 100	人 10	1, 620 1, 620 400	情報学) 一 学士(看護	1. 13 1. 13 0. 93	1. 15 1. 15 0. 93	_	_	葉区御成台4-1		
総合情報学科 看護学部 看護学科	4 4 4 4	400 400 100 100	人 10 10 — — 10	1, 620 1, 620 400 400	情報学) 一 学士(看護 学)	1. 13 1. 13 0. 93	1. 15 1. 15 0. 93	_	_	葉区御成台4-1	備	考
総合情報学科 看護学部 看護学科 大学全体	4 4 4 4	400 400 100 100 500 京情	人 10 10 — — 10	1, 620 1, 620 400 400 2, 020	情報学) 一 学士(看護 学)	1. 13 1. 13 0. 93	1. 15 1. 15 0. 93	定員変更 変度 年度間の	_	葉区御成台4-1	備	考
総合情報学科 看護学部 看護学科 大学全体 大学全体	4 4 4 - 東	400 400 100 100 500 京情	人 10 10 一 一 10 報 大	1,620 1,620 400 400 2,020 文学大	情報学) 学士(看護学) 学 院 学位又	1. 13 1. 13 0. 93 0. 93 - - 平均入員	1. 15 1. 15 0. 93 0. 93 — 令和2年度 入学定員	定年愛度	一 平成29 一 開設	葉区御成台4-1 同上	備	考
総合情報学科 看護学部 看護学科 大学全体 大学の名称 既設学部等の名称	4 4 4 4 年	400 400 100 100 500 京 情	人 10 10 一 10 報 入 編定	1,620 1,620 400 400 2,020 文学大 収容員	情報学) 学士(看護学) 学 院 学位又	1. 13 1. 13 0. 93 0. 93 — — 平均入学 定過率	1. 15 1. 15 0. 93 0. 93 — 令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 変度 年度間の	一 平成29 一 開設	葉区御成台4-1 同上	備	考
総合情報学科 看護学部 看護学科 大学全体 大学全体	4 4 4 4 年	400 400 100 100 500 京 情	人 10 10 一 10 報 入 年 年	1,620 1,620 400 400 2,020 文学大 収容員	情報学) 学士(看護学) 学 院 学位又	1. 13 1. 13 0. 93 0. 93 — — 平均入学 定過率	1. 15 1. 15 0. 93 0. 93 — 令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 変度 年度間の	一 平成29 一 開設	葉区御成台4-1 同上	備	考
総合情報学科 看護学部 看護学科 大学全体 大学の名称 既設学部等の名称	4 4 4 中東 業限 年	400 400 100 100 500 京 情 入定員	人 10 10 一 一 10 報 入 年 人 一	1,620 1,620 400 400 2,020 文学大 収定員	情報学) 学士(看護学) 学 院 学位又	1. 13	1. 15 1. 15 0. 93 0. 93 - 令和2年度人学定量 倍	定員変更 変度 年度間の	一 平成29 一 開設	葉区御成台4-1 同上	備	考
総合情報学科 看護学部 看護学科 大学全体 大学の名称 既設学部等の名称 総合情報学研究科博士前期課程	4 4 4 4 - 東 業限 年 2	400 400 100 100 500 京 情 入定員	人 10 10 一 一 10 報 入 年 人 一	1,620 1,620 400 400 2,020 文学大 収容員	情報学) - 学士 (看 学) ー 学 位称号 学は称号 を 1 (総合	1. 13 1. 13 0. 93 0. 93 一 平均定過率 倍 0. 40	1. 15 1. 15 0. 93 0. 93 - 中 令和2年度 超過率 倍 0. 40	定員変更 変度 年度間の	一 平成29 一 開設度	葉区御成台4-1 同上 一	備	考
総合情報学科 看護学部 看護学科 大学全体 大学の名称 既設学部等の名称 総合情報学研究科博士前期課程 総合情報学専攻	4 4 4 4 - 東	400 400 100 100 500 京 情 入定 人	人 10 10 一 一 10 報 入 年 人 一	1,620 1,620 400 400 2,020 学 大 収容員 人	情報学) 一 学士学 学位称 学生 学位 (総学) 総学) (総学) 総学) (総学) 総合 (会合 会合	1. 13 1. 13 0. 93 0. 93 一 平均定過率 倍 0. 40 0. 40	1. 15 1. 15 0. 93 0. 93 -	定員変更 変度 年度間の	一 平成29 一 開設度	葉区御成台4-1 同上 一	備.	考
総合情報学科 看護学部 看護学部 大学全体 大学の名称 既設学部等の名称 総情報学研究 総合情報 総合情報 総合情報 に対している。 にはいるのではいる。 にはいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるので	4 4 4 4 - 東 修年 年 2 2 3	400 400 100 100 500 京 情 入定 人	人 10 10 10 4 編定 4	1,620 1,620 400 400 2,020 文字 大 収容員 人 30 9	情報学) 一学学 (看) 学 (看) 学 (本称号) 修士報学) 修作報学)	1. 13 1. 13 0. 93 0. 93 平均入員率 倍 0. 40 0. 40 0. 22	1. 15 1. 15 0. 93 0. 93 — 令和2年度 入学定員 超過率 倍 0. 40 0. 40 0. 00	定員変更 定員変度 (AC期間の 学科のみ)	ー 平成29 ー 開設度 ー 平成4	葉区御成台4-1 同上 一 所在地 千葉県千葉市若 葉区御成台4-1	備	考

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
設 置 時(平成28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況調查時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際食料情報学部 国際食農科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 科目区分の変更について (一部) ・教職課程認定における一部変更 ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応	① 学部共通基礎科目→学科基礎科目 学部共通専門科目→学科専門科目 ② 4月9日から授業を開始する計画であったが、これを延 期するとともに学内への立入を禁止した。5月11日から遠隔 授業を開始した。授業開始が遅れたことから、補講の実施
	や課題研究等により必要な学修時間を確保する。今後の状況によっては、開講学期の変更も検討する。学生には事前に十分な説明を行うとともに、必要な支援を行う。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な組織として、全学審議会の下に教学検討委員会を設置している。

※関係規程等 「東京農業大学学則(一部抜粋)(資料1)」「東京農業大学全学審議会規程(資料2)」「全学審議会設置委員会(一部抜粋)(資料3)」「東京農業大学教学検討委員会内規(資料4)」

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和元年度は、平計9回の委員会を開催した。

委員は、各学部教員から1名計6名、学務部長、厚木キャンパス事務部長、オホーツクキャンパス事務部長、大学改革推進室長となっている。また、副学長(教学担当)がオブザーバーとして参加する。

- c 委員会の審議事項等
 - 教学検討委員会活動計画に関する事項
 - ・ FD活動に関する事項(シラバスの記載内容の変更、シラバスの第3者チェックの実施、オフィスアワーの設定、 授業評価への取組み、授業評価結果活用、ナンバリング及びカリキュラムツリーの作成、教育改革推進プロジェクト への対応、FDワーキンググループの取組み、FD推進ワークショップへの参加、学内FD活動の推進等)
 - ・ 教学に関する事項(年間授業計画、特別講義、世田谷6大学コンソーシアム連携授業、他学部・他学科聴講、GPAの活用計画、学外オリエンテーション実施計画、アクティブラーニング(AL)科目の確認等)
 - 教学検討委員会活動報告に関する事項

② 実施状況

- a 実施内容
 - ① 新任教員のための研修会の実施
 - ② 自己教育評価の実施
 - ③ 授業評価及び学修時間アンケート結果の活用(改善報告書の提出を含む)
 - ④ 任期制教員への面談、指導記録の作成
 - ⑤ 学生対応セミナー・ハラスメント講習会の実施
 - ⑥ 外部評価会議の実施
 - ⑦ ベストティーチャー賞、ベストレクチャラー賞の創設
 - ⑧ 全学 F D・S D 合同フォーラムの企画

b 実施方法

- 新任の専任教員全員を対象に、学長・副学長・研究科委員長等から、建学の精神、教員の心得、ハラスメント防止、研究活動の適正な実施等について説明を行った。更に、学部学科単位で独自の研修やフォローアップを行っている。
- ② 専任教員全員を対象に、毎年、教育研究活動に関する自己教育評価アンケートを実施している。 設問は76項目(自由記述を含む)でありWEBによる回答形式を導入している。 また、結果を所属毎・職階毎に集計し、平均点や得点分布等を所属長及び本人にフィードバックしている。
- ③ 全学生を対象として前・後学期に各1回「授業評価及び学修時間アンケート」を実施し、実施結果を学生及び教員にフィードバックするとともに、授業評価結果が一定基準に満たない場合は改善報告書の提出を求めている。 設問は21項目(教科単位の個別設問及び自由記述を含む)であり、学修成果の可視化の観点から、回答には学籍番号を記載させている。
- ④ 任期制教員への面談及び指導記録の作成を各学部長を中心に各学科で年度末に行っている。
- ⑤ 教職員を対象とし、学生対応セミナー・ハラスメント講習会を実施した。
- ⑥ 教育研究活動の内部質保証の取り組みとして、中等教育学校関係者及び民間企業採用担当者の方々に評価委員をお願いし、本学の教育研究活動について意見を伺う機会とする外部評価会議を実施した。
- ⑦ 教育の質向上に貢献した教員を表彰する「ベストティーチャー賞」、特徴的授業を展開した教員を表彰する「ベストレクチャラー賞」を創設した。
- ⑧ 東京都市大副学長を招き、同大のFD・SDに係る取り組みについて講演していただく。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ① 令和元年度は、全体研修を4月11日に実施した。新任の専任教員のほぼ全員が参加した。
- ② 令和元年度は、令和2年1月に実施した。専任教員のほぼ全員が回答した。
- ③ 令和元年前学期は、7月に「授業評価及び学修時間アンケート」を実施し、結果を9月に授業担当者及び学生に公開した。 後学期は、令和2年1月に「授業評価及び学修時間アンケート」を実施し、結果を3月に授業担当者及び学生に公開した。 評価結果が一定基準に満たない授業担当者については、改善計画書の提出を求めた。
- ④ 令和元年度は、令和2年2月に任期制教員全員について実施した。
- ⑤ 令和元年度は、学生対応セミナーを7月24日に実施し、80名の参加があった。 ハラスメント講習会を令和2年2月21日に実施し、83名の参加があった。
- ⑥ 中等教育学校の理事長、校長、教頭等 5 校 6 名及び民間企業等の採用担当者 5 社 5 名の評価委員による外部評価会議を 1 2 月 6 日に実施した。
- ⑦ 「ベストティーチャー賞」6名、「ベストレクチャラー賞」1名を選出し、表彰した。
- ⑧ 令和2年3月2日開催で計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ① 新任研修において、建学の精神や沿革など農大独自の方針や歴史を理解させることにより、本学の特長である研究室での教育研究活動の活性化につながっている。また、ハラスメント防止対策の理解を深化させることができた。
- ② 大学全体平均・学部平均との比較により、自身の教育・研究活動の振り返りと改善への意識付けにつながっており、 シラバス記載内容の充実等、FD活動への理解促進の一策として効果が上がっている。
- ③ 授業評価結果の活用として、基準を下回った授業担当者全員から、改善計画等報告書を提出させている。
- ④ 任期制教員の教育及び研究の状況を確認し、設定目標に対する指導・アドバイスを行った。
- ⑤ 学生対応セミナーにより、学生トラブルの実情や学生相談の際の配慮点について理解を深めた。 ハラスメント講習会では、ハラスメントの防止を主に発生した場合の対応についも理解を深めた。
- ⑥ 外部評価委員から非常に参考になるご意見を頂戴した。次年度のFD活動計画に改善事項として盛り込む予定である。
- ⑦ 表彰に当たっては、選考理由や表彰者の授業の特徴等を紹介しており、他の教員にとって参考となっている。
- ⑧ 実施できなかった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年、学期末に行っている。(平成27年度からWEBによる授業評価からマークシートによる授業評価に変更した。)

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、集計結果を一覧表にしてメールで配信している。評価結果が一定基準に達していない場合は、 授業改善計画等報告書の提出を依頼し、文書で回収している。

学生に対しては、集計結果を学科、学年等カテゴリーごとに集計し、学生ポータルで公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際食農科学科は、食と農に関わる現場において、実践力をもつ人材を養成するため、「1)食と農にかかわるあらゆる科学、すなわち生産から消費、さらに調理を含め栄養学的知見まで食に関連する一連のプロセスの包括的な学習」、「2)食や農に関わる歴史や文化的社会的背景、政策や制度に関する幅広い知識の習得」、「3)今後ますます重要になるフィールドワーク、実習など実践性の高い教育」を実現することを特色としている。すなわち、本学科は専門化・細分化の進む農学分野において、自然科学から社会科学、人文科学までを幅広く修得し、その上で一つの分野の知識を深める事を通じて、実践性の高い知識を獲得できるというところにその機能をもち、本学の教育理念を体現し、現場で能力を発揮し社会に貢献できる幅広い知識とスキルを修得させる。

現場で記述を光祥し社会に貢献とこる幅広い加麗とスマルを修行としる。 開設4年目(完成年度)にあたる令和2年度入学試験(一般入試)では、合格倍率はA日程入試で3.2倍(平成29年度40.0倍、平成30年度4.3倍、平成31年度2.8倍)、B日程入試で3.8倍(平成29年度4.8倍、平成30年度5.3倍、平成31年度4.3倍)となり、本学科に対する高校生のニーズが高いことが確認することができた。新入生114名を迎え入れ、2年生116名、3年生110名、4年生106名とあわせ、447名(留年生を含む)の学生に対して学科の目的に沿った教育研究を確実に実行し、社会から必要とされる人材を養成していく所存である。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ·令和2年6月30日 公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和2年6月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成31年度(令和元年度)に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受審し適合認定
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

O ii	设置計画履行状況報告	書	(令和2年度)				
а	公表予定の有無	[有		無	J		
≪ a 7	で「有」の場合≫							
b	公表(予定)時期	(<	調査結果公	表後 1	ヶ月以内	公表後2~3ヶ月以内	公表後3ヶ月以降)
С	公表方法	[グェブサイ	トへの	掲載・	その他())
<i>,,</i> -	ᇬᆂ「ᄺᆞᄼᄱᄼᅅ							
≪ a ′	で公表「無」の場合≫							
d	公表しない理由	[)
i								

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。